

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		岡部駅橋上駅舎化事業			担当課	都市計画課	担当係	市街地整備係	管理番号	44322
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち			事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり			根拠法令 個別計画等				
	小項目	2	公共交通の維持確保と交通安全の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		岡部駅を自由通路を兼ね備えた橋上駅舎へバリアフリー化を含めた一体整備をすることで、駅南側からのアクセス改善を推進するとともに、駅南北の回遊性を高め、駅並びに周辺利用者の利便性向上を図るものである。								
目的 ※何のために		駅南側からのアクセスを改善し、駅南北の回遊性を高める								
対象 ※誰・何を対象に		駅並びに周辺利用者								
手段 ※どのように		岡部駅を自由通路を兼ね備えた橋上駅舎へバリアフリー化を含めた一体整備を行う								
成果 ※何を求めるか		駅並びに周辺利用者の利便性向上を図る								
執行体制		☒ 職員 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	8	土木費	4	都市計画費	1	都市計画総務費	岡部駅橋上駅舎化事業	2,035,000
本事業の 主な業務		・ 岡部駅橋上駅舎化整備							・	
		・ 岡部駅北口駅前広場整備							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト) 単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		・ 基本構想策定 ・ JRとの協議	・ 基本構想策定 ・ JRとの協議	・ JRとの協議	・ JRとの協議 ・ 市民アンケートの実施	・ JRとの協議	
事業費	予算(現額)	15,498,000	2,339,000	80,000	2,115,000	1,080,000	
	決算額	13,124,502	2,072,160	3,060	2,035,000	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	13,124,502	2,072,160	3,060	2,035,000	1,080,000
人件費	従事職員数(人)	0.73	0.54	0.56	0.64	0.34	
	人件費相当試算※	5,744,777	4,325,490	4,604,455	5,425,341	2,994,886	
総事業費試算		18,869,279	6,397,650	4,607,515	7,460,341	4,074,886	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績値							
		目標値の算定根拠/実績値の出所 実績値の算出式							
活動指標 1	市民との意見交換実施回数	目標値	回	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		実績値		0.00	0.00	0.00	0.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			意見交換会の実施回数/実績による					
	実績値の算出式								
活動指標 2	関係機関との協議実施回数	目標値	回	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		実績値		11.00	3.00	5.00	1.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			関係機関はJR、県、国等とする/実績による					
	実績値の算出式								
成果指標 1	JRとの基本協定の締結	目標値	式						
		実績値		0.00	0.00	0.00	0.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			事業の性質上、目標の設定は困難である/実績による					
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	令和7年度については、基本協定締結に向けたJRとの協議は少なかったが、岡部駅橋上駅舎化に対する意見を募るためのアンケートを岡部地区在住の市民及び利用者に対し実施することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	令和7年度については、JRとの協議を進めるとともに、アンケート調査の実施を行うことができた。引き続き基本協定の締結に向け、事務を進めていく。
			評価者 市街地整備係長 松本 拓陽

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	橋上駅舎化により駅利用者の利便性向上を進めるため、令和5年度に策定した基本構想の内容を踏まえ、令和6年度には、JRとの協議や現地立ち合いを重ね、令和7年度については、アンケート調査を実施することができた。引き続き、事業実施のための効率的な事務に努めていく。
			評価者 市街地整備係長 松本 拓陽